

学校法人 エイシンカレッジ長岡こども福祉カレッジ
令和元年度 事業報告書

1. 基本方針

(1) 学校運営方針

- 1) 現代社会の要請、特に地元における福祉全般に求められる人材の育成
- 2) 必要な専門的に知識・技術を修得するとともに、自立した人間性を持ち、実社会の中で活躍できる「スペシャリスト」を育成する。

2. 主な事業報告

(1) 教育活動

概ね事業計画通りに運営できた。年間スケジュールおよび、カリキュラムに沿って適切に学校運営、授業運営、行事運営、就職支援、生活指導が行われた。

1) 主な教育実績

こども保育科は保育士養成校として実践力のある保育士を地域社会に輩出している。介護福祉科は養成校として初めての国家試験の受験であったが、全員合格に導き学校合格率は 100%であった。社会福祉専攻科は養成校ではないが、東北福祉大学の提携校として社会福祉士の国家試験の受験者に試験対策を行い、高い合格実績を上げている。

2) 授業運営

- ・授業担当者が研究授業に取り組み、授業改善に取り組んでいる。
- ・アクティブラーニングを取り入れ、学生同士の教えあいなどグループワーク活動を通じて学習内容の共有化に取り組み高い学習効果を示している。
- ・個別補講を実施するなど学習内容の定着に取り組んでいる。

3) 就職支援

- ・就職担当と就職年次と担任は、学生の就職希望状況と求人情報を共有するようにしている。
- ・学生各々の希望に合わせた就職達成を実現するため、就職担当は個別支援を実施するなどして、100%の就職率を達成することができた。

4) 生活指導

- ・生活指導指針に沿って、基本的マナーや礼節の指導を行っているが、実習先において指摘を受ける場面もあり、指導の徹底を図る必要がある。

- (2) 学生募集オープンキャンパスの運営の見直しを行うなど、各学科の特色を高校生にアピールできるよう工夫をしている。しかしながら、少子化の影響により学生数の減少は避けられない状況でなかなか定員充足にまで至っていない。

3. その他

- ・情報通信ネットワークを整備した。